

◆ 【麻しんの発生件数の把握について】

今週の麻しん全数発生報告は3例です。5月25日より始まった市内全医療機関からの麻しん発生件数(成人麻しんを含む)については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 今週のコメント

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は5.73で、過去5年平均値(5.13)を上回っています。年齢階級別にみると、6歳以下に多く、71.5%を占めています。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.05で、第2週以降、ほとんどの週で、過去5年平均値を上回る状態が続いています。
- ・ レジオネラ症の報告が1例あり、本年の累積報告数は5例で、過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期までの累積報告数0～2例と比べて最も多くなっています。

◆ 今週のトピックス:〈夏の感染症〉

- ・ 夏に流行する感染症のうち、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナについてみると、本市においては未だ増加傾向はみられませんが、全国では、増加傾向となっています。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 8例(肺結核 6例, その他 2例)(第20・22週追加分含む)
- ・ 四類:A型肝炎 1例
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例
- ・ 五類:クロイツフェルト・ヤコブ病(孤発性) 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.73	235
	② 水痘	1.39	57
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	43
	④ 突発性発しん	0.51	21
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

病原体情報

ありません。

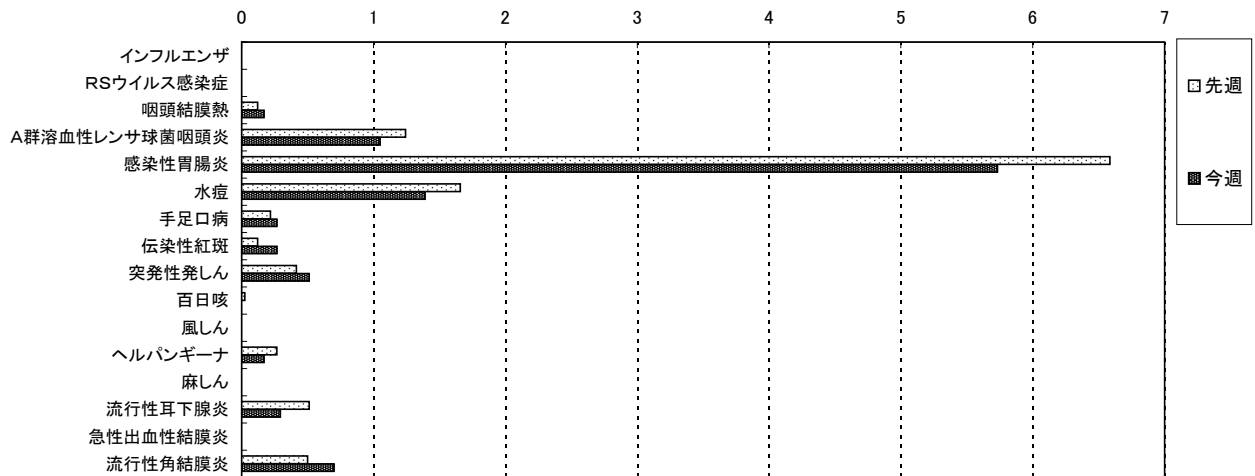
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈夏の感染症〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

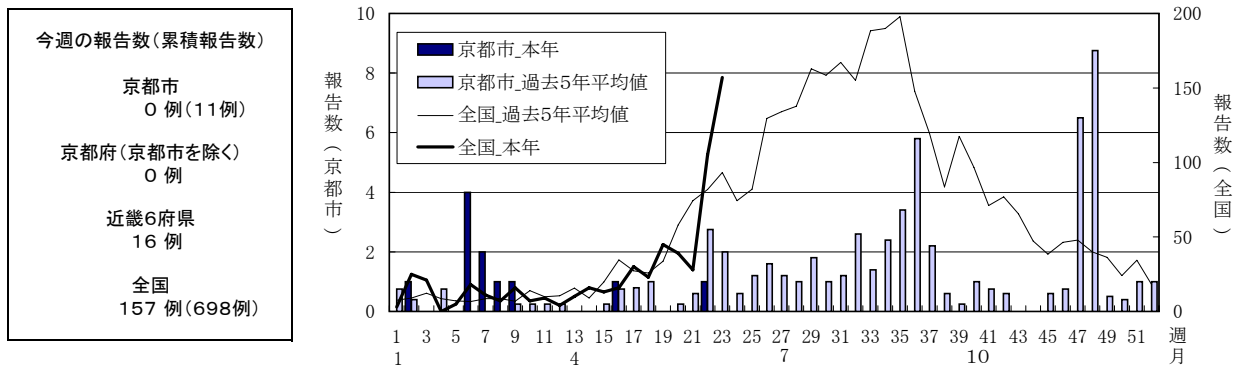
(注) 京都市のデータは平成19年6月18日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第23週)と先週(第22週)の定点当たり報告数の比較

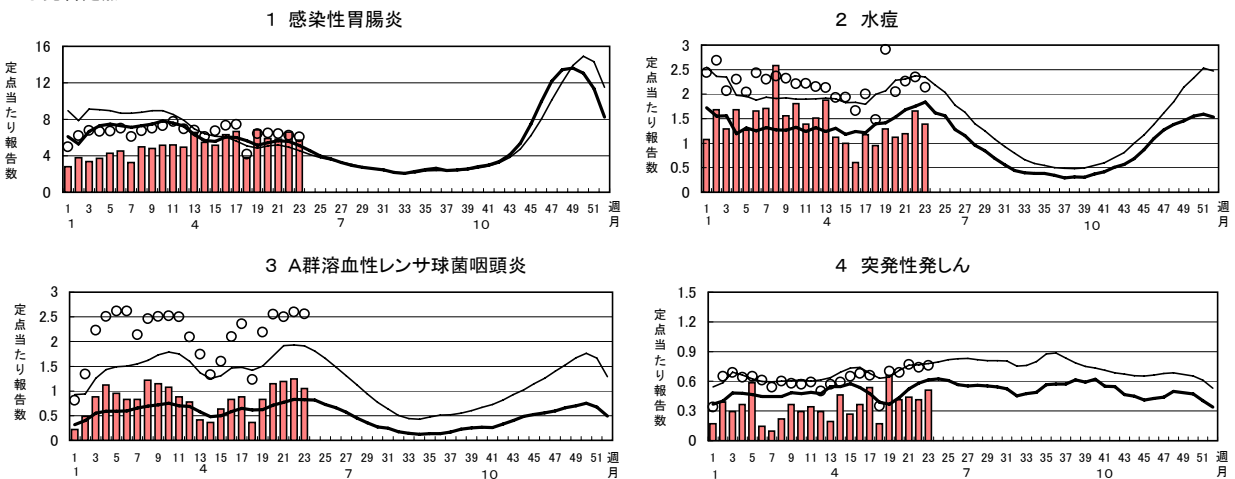


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

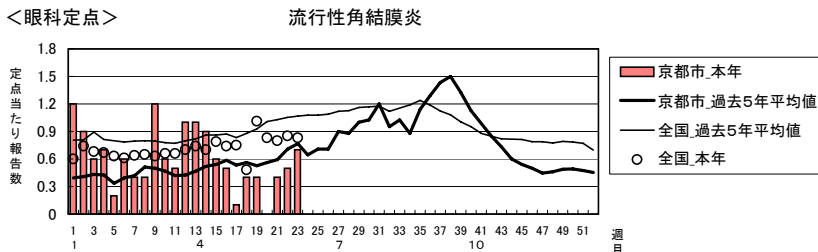


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第23週)のトピックス:〈夏の感染症〉

夏に流行する感染症のうち、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナについてみると、本市においては未だ増加傾向はみられず、いずれも過去5年平均値を下回る値となっていますが、全国では、第19週以降増加傾向となっています。

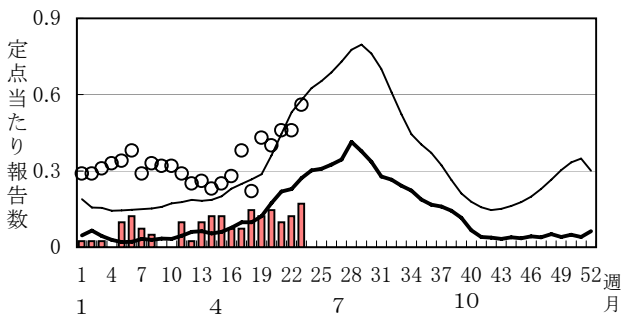
疾病別、年齢階級別に第1～23週までの累積構成割合をみると、いずれの疾病も、1歳が最も多くなっています。また、咽頭結膜熱では1～3歳で64.0%、手足口病では1～2歳で49.7%、ヘルパンギーナでは1～2歳で50.0%を占めています。

疾病別、都道府県別に第23週の定点当たり報告数をみると、咽頭結膜熱は、富山県で最も多いものの、地域性はあまりみられませんでした。一方、手足口病は、気候の温暖な九州地方を中心に、すでに報告が多くみられています。ヘルパンギーナは、九州地方に加え、手足口病に比べ広い範囲ですでに多くなっており、宮崎県、山口県の順に多くなっています。

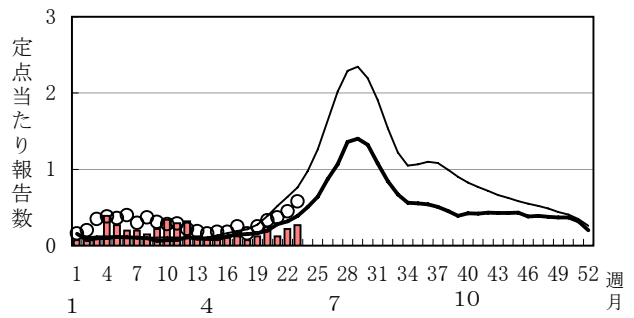
なお、咽頭結膜熱において、肺炎重症例などの報告があるアデノウイルス7型は、全国では2003年以降急減しており、本市においても報告はみられません。手足口病において、髄膜炎、脳炎などの合併症の報告があるエンテロウイルス71型は、2003年(657例)以降、04年(54例)、05年(59例)では急減していますが、06年(314例)はやや多くなっており、本市でも03年以降、3例の報告があります。

いずれの感染症についても今後、増加が予想されますので、ご注意ください。

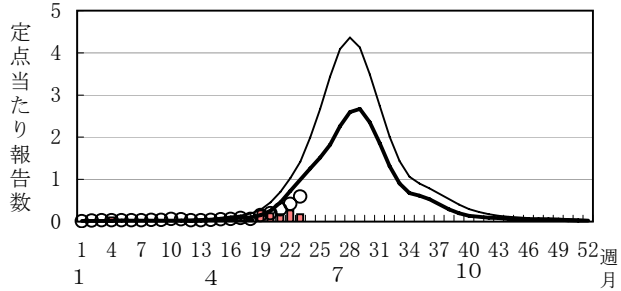
咽頭結膜熱 定点当たり報告数



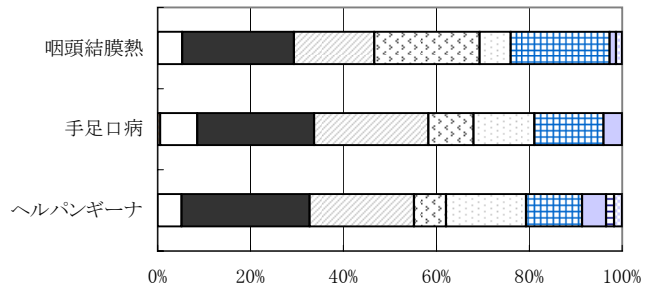
手足口病 定点当たり報告数



ヘルパンギーナ 定点当たり報告数



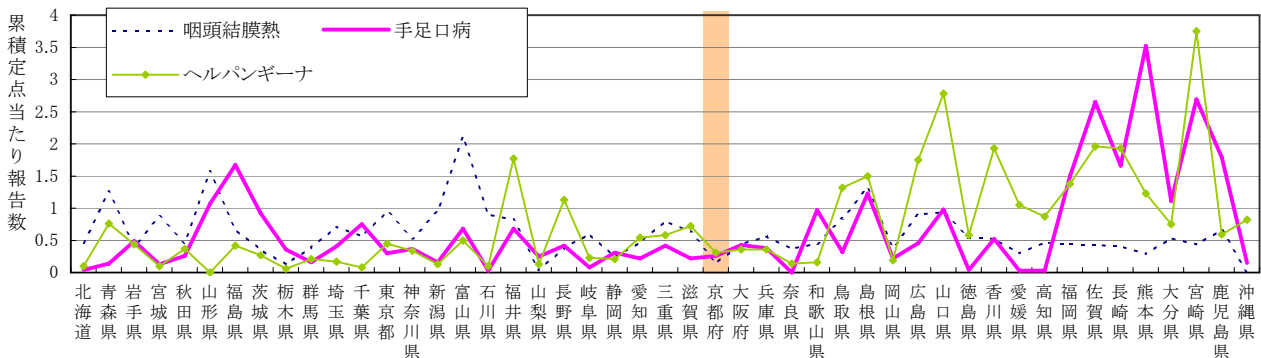
疾病別、年齢階級別累積構成割合(2007年第1週～23週まで)



■ 京都市_本年 — 京都市_過去5年平均値
○ 全国_本年 — 全国_過去5年平均値

~5ヶ月 ~11ヶ月 1歳 2歳 3歳
 4歳 5歳- 10歳- 15歳- 20歳以上

疾病別、都道府県別累積定点当たり報告数(2007年第23週)



京都市麻しん全数発生報告

京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から6月17日までの報告を初診週別に集計しています。

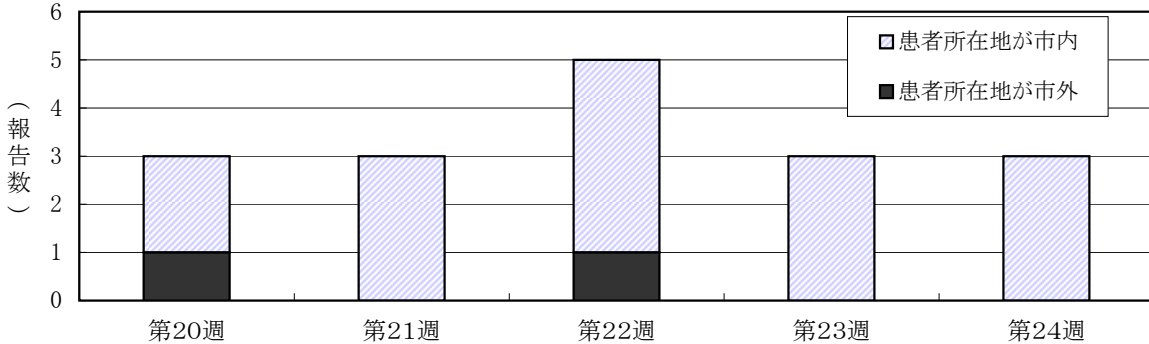
なお、定点からの報告はありませんでした。

1 推移

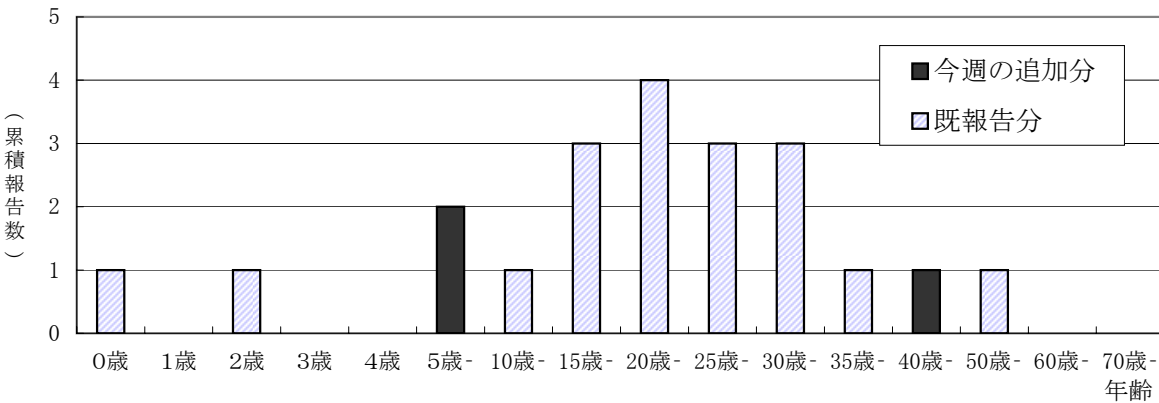
	初診週	第20週	第21週	第22週	第23週	第24週	累積報告数 (第17週以降)
今週の追加分		-	-	-	-	3	3
既報告分		3	3	5	3	-	18
合計		3	3	5	3	3	21

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (最新5週分)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータを、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月~11ヶ月	3歳	10~14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第23週

疾病,保健所別報告数

平成19年6月4日～平成19年6月10日

データ入手日:平成19年6月18日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	6	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	3	14	2	1	2	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	2	1	16	4	1	-	1	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	27	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	3	20	2	1	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	8	30	5	-	1	4	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	28	3	-	-	4	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	2	10	31	8	3	3	2	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	3	18	56	22	4	1	5	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	7	43	235	57	11	11	21	-	-	7	-	12	-	7	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計	-	-	-	-	1.75	0.25	-	-	-	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	1.75	0.25	-	-	-	-	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	2.00	2.00	-	0.33	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.75	3.50	0.50	0.25	0.50	0.75	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	0.67	0.33	5.33	1.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	0.33	-	1.50	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	13.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.75	5.00	0.50	0.25	0.25	0.50	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	2.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2.67	10.00	1.67	-	0.33	1.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	5.60	0.60	-	-	0.80	-	-	0.20	-	0.20	-	4.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.29	1.43	4.43	1.14	0.43	0.43	0.29	-	-	0.14	-	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.75	4.50	14.00	5.50	1.00	0.25	1.25	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.17	1.05	5.73	1.39	0.27	0.27	0.51	-	-	0.17	-	0.29	-	0.70	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第23週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年6月4日～平成19年6月10日

データ入手日:平成19年6月18日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		7	-	-	1	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		43	-	1	-	2	6	5	2	5	6	1	4	10	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		235	2	20	31	28	23	26	13	25	15	3	7	19	4	19	-	-	-	-	-	-
水痘		57	1	6	12	9	11	7	3	2	2	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病		11	-	2	2	4	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	11	-	-	-	1	3	2	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		21	3	13	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		7	-	-	2	1	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		12	-	-	1	1	3	1	2	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	2	2	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.17	-	-	0.02	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.05	-	0.02	-	0.05	0.15	0.12	0.05	0.12	0.15	0.02	0.10	0.24	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.73	0.05	0.49	0.76	0.68	0.56	0.63	0.32	0.61	0.37	0.07	0.17	0.46	0.10	0.46	-	-	-	-	-	-
水痘		1.39	0.02	0.15	0.29	0.22	0.27	0.17	0.07	0.05	0.05	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.27	-	0.05	0.05	0.10	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.27	-	-	-	0.02	0.07	0.05	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.51	0.07	0.32	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.17	-	-	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.29	-	-	0.02	0.02	0.07	0.02	0.05	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	0.10	0.10	0.20	0.20	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第23週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年6月18日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	28	14	3	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	5	6	4	5	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	34	47	49	51	43
感染性胃腸炎	157	280	241	239	270	235
水痘	39	53	46	49	68	57
手足口病	3	5	10	5	9	11
伝染性紅斑	7	9	12	6	5	11
突発性発しん	7	27	17	18	17	21
百日咳	-	2	2	-	1	-
風しん	-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	11	8	7	11	7
麻しん (※)	1	-	1	-	-	-
流行性耳下腺炎	8	13	10	13	21	12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	4	-	4	5	7
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	277	457	404	394	463	411

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	0.41	0.21	0.04	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.15	0.12	0.15	0.10	0.12	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	0.83	1.15	1.20	1.24	1.05
感染性胃腸炎	3.83	6.83	5.88	5.83	6.59	5.73
水痘	0.95	1.29	1.12	1.20	1.66	1.39
手足口病	0.07	0.12	0.24	0.12	0.22	0.27
伝染性紅斑	0.17	0.22	0.29	0.15	0.12	0.27
突発性発しん	0.17	0.66	0.41	0.44	0.41	0.51
百日咳	-	0.05	0.05	-	0.02	-
風しん	-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	0.27	0.20	0.17	0.27	0.17
麻しん (※)	0.02	-	0.02	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.20	0.32	0.24	0.32	0.51	0.29
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.40	-	0.40	0.50	0.70
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	6.79	11.31	9.82	9.91	11.67	10.55

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。